

発行：山形県舟形町議会
令和3年1月22日



表紙のことは
19Pにあります。

みずき団子飾り楽しいなあ（舟形若あゆ温泉）

年頭のあいさつ	2P
11月臨時会・12月定例会概要・質疑応答	3P
議案の採決状況	6P
町政を問う 一般質問に6議員	7P
第13回議会報告会を開催しました	14P
議会報モニターアンケートより	16P
議会活動	18P
えがったなあ・町民の声・編集後記	20P



新型コロナの収束を願って

令和2年度 主な補正予算

- 社会資本総合整備事業 …… △9340万円
(国庫補助金の交付減額による事業費の減)
- ふながた若鮎まつり事業 …… △1136万円
(ふながた若鮎まつりの中止による減)
- 農業経営高度化支援事業 …… △1000万円
(県営農地整備事業、県の交付減額による減)
- 特別定額給付金事業 …… △798万円
(特別定額給付金の給付完了精算による減)
- 児童交流学習事業 …… △324万円
(児童交流学習の中止による減)
- 都市と農村交流事業 …… △180万円
(首都圏で行われる複数の物産交流事業の中止による減)
- 非常備消防事業 …… △111万円
(消防団の演習や大会等の中止による減)
- 担い手育成総合支援事業 …… 755万円
(農地中間管理事業による農地集積(小松原田地区)に対する機構集積協力金の増)
- 公共土木施設災害復旧事業 …… 264万円
(内山地区道路(橋梁)災害復旧工事費の増)
- 減債基金積立金 …… 3261万円

※減債基金とは… 町債(借金)の償還(返済)の増加に備えるために設置される基金。公債費(借金返済)が他の経費を圧迫するような場合には、減債基金を取り崩して運用する。

第6回臨時会
11月30日
12月定例会
12月8日~10日

12月定例会は、8日から10日までの会期で開催され、6人の一般質問に続き、一般会計補正予算、各条例の制定、条例の改正等を審議し、全議案を原案通り賛成多数で可決しました。

新型コロナウイルス感染症等により

8240万円減額補正

主な審議された議案

第6回臨時会

- 令和2年度一般会計補正予算の専決処分の承認
- 舟形町一般職、特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
- スクールバス(中型45人乗り)の取得
(相手方・株式会社 もがみJAサービス)

12月定例会

- 令和2年度一般会計補正予算
- 舟形町議会議員及び舟形町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の設定
- 舟形町税外収入金督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例の制定
- 舟形町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
- 最上圏域下水道共同管理協議会規約の変更
- 舟形町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定
- 舟形町議会会議規則の一部を改正する規則の制定
- 委員会付託の審査報告(陳情3件)

全議案の採決結果は6ページに掲載



「年頭によせて」

舟形町議会議長 八 鋏 太



明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、あらゆる分野に影響を及ぼし、日常生活様式が大きく変貌した年となってしまいました。

町民の皆様も、驚きと戸惑いのなか、不安な気持ちで一年を過ごされたことと思いますが、官民一体となつての予防対策と、皆様の努力によって、舟形町では一人の感染者も出さなく新年を迎えることができました事を皆様と共に、お慶び申し上げます。

町議会としても「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」を設置し、町内の事業所等への影響や感染予防対策の拡充に取り組んできたところで

す。新年を迎え、2月からは町でも新型コロナウイルス感染症予防のワクチン接種の準備に入り、順次接種が始まる予定ですが、まだまだ予断を許せない状況が続くと思われま

す。こうした厳しい中ではありますが、議会に課せられた責務をしっかりと果たしていくために、自らの改革と活性化に努め、議員一丸となって直面する課題の解決に取り組んで参りますので、今後とも、ご指導、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と、町民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念し、新春のご挨拶といたします。

議長	八 鋏 太
副議長	斎藤 好彦
議員	叶内 富夫
議員	佐藤 広幸
議員	奥山 謙三
議員	石山 和春
議員	小国 浩文
議員	伊藤 欽一
議員	荒澤 広光
議員	叶内 昌樹
事務局長	相馬 昇
事務局員	伊藤 優

質 答 応 疑

第6回臨時会

令和2年度一般会計補正予算の 専決処分の承認

議員 令和2年7月豪雨対応産地緊急支援事業費補助金と強い農業・担い手づくり総合支援交付金（被災農業者支援型）とあるが、具体的な追加対象は。

農業振興課長 産地支援としては、冠水した農地等への追加防除薬剤と、きゅうりのほ場で川に流出した支柱の購入費で、被災農業者支援は、流出した水稲の育苗ハウスの復旧と農業用機械が浸水で破損し、再度購入や修繕した方への支援です。



流出したきゅうりのほ場（根渡地内）

議員 7月の豪雨被害で追加防除の申請数が、34件とのことだが、該当しなかった農家はなかったのか。

農業振興課長 被害を受けていて該当ならなかったとの報告はありません。JAからの営農指導を受けた上で実施しなかった場合や、追加防除用薬剤を購入しないで実施した場合は、該当になりません。

議員 インフルエンザ予防接種を助成しているが、接種率は。

健康福祉課長 舟形クリニックと他の医療機関の10月と11月の実績によると、全体では1782名で56%、65歳以上の高齢者だけでは90%の接種率です。

スクールバスの取得

議員 平成30年度にも45人乗りのスクールバスを購入しているが、現行車と仕様の大きな違いは何か。オプション金額はいくらか。また指名業者数落札率は。

教育課長 今回購入予定の45人乗りスクールバスにはオプションで、左側に荷物を収納できる2スパンのトランクルーム付の仕様になりました。オプション金額は27万円です。指名業者数は3社で、落札率は97.5%です。

議員 公共土木施設災害復旧費、内山地区のように、具体的な内容は。

地域整備課長 7月の豪雨により、町道紫山内山線の橋梁と道路の付け根部分の法面の法尻が決壊した災害です。

議員 小松原田地区の受益者負担について、最終的に受益者負担金は、ゼロになる前提で考えてよいか。

地域整備課長 集積の達成状況が計画通り見込まれますので、最終的に県営事業にかかる工事費等の受益者負担金はゼロになると考えています。

議員 ふるさと応援事業について、補正額ゼロということだが、説明欄にはプラスになったり、マイナスになったりと数字の変動があるが、その内容は。

まちづくり課長 ふるさと納税の補正については当初で歳入を3億円で計上していましたが、このままいくと3億円を超える見込みなので、3億5千万円を想定した金額で補正しました。

議員 特別定額給付金事業の消耗品費が250万円減とあるが、なぜか。

デジタルファースト推進室長 国の予算配分は、1000世帯から3000世帯で1100万円が標準であるため町でもこの金額を予算計上したが、最終清算の結果減額となりました。



トランクルームが大きくなるスクールバス（写真は現行車）

12月定例会

令和2年度一般会計補正予算

議員 観光総務事業101万円の減額補正は、ヒストリックカーミーティング、鮎釣り大会が中止になったためだと思うが、当初予算と1万4千円合わないのは何故か。

まちづくり課長 ヒストリックカーミーティングは、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になりましたが、車のオーナー様に中止の案内文書を郵送しましたので、郵便料金に使用しました。

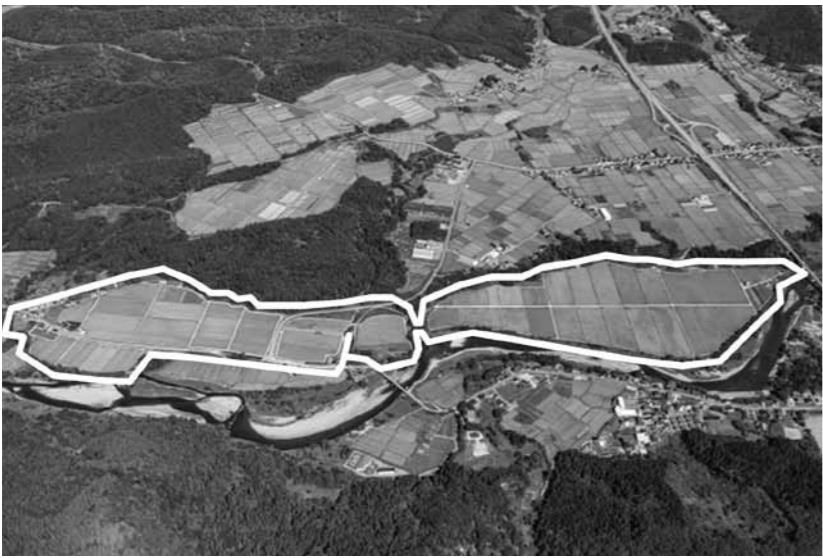
町村の選挙における公営拡大と供託金導入

区分	公営の有無			供託金額
	選挙運動用 自動車	選挙運動用 ポスター	選挙運動用 ビラ	
都道府県知事選挙	○	○	○	300万円
都道府県議会議員選挙	○	○	○	60万円
市長選挙	○	○	○	100万円
市議会議員選挙	○	○	○	30万円
町村长選挙	× ↓ ○	× ↓ ○	× ↓ ○	50万円
町村議会議員選挙	× ↓ ○	× ↓ ○	頒布不可 ↓ 頒布解禁 公営対象	— ↓ 供託金導入 15万円

町議会議員及び町長の選挙における 選挙運動の公営に関する条例の設定

議員 公職選挙法の改正により、舟形町議会議員選挙において供託金15万円が必要になるが、納付先はどこか。

総務課長 供託金納付先は山形銀行になります。納付手続は、法務局で納付手続をし、山形銀行に供託金を納付後、法務局から証明書を受領し、選挙管理委員会に提出する流れになります。



農地整備事業が完了した小松原田地区

町政を問う

一般質問に6人が登壇

一般質問とは

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。
(本会議での持ち時間は一人40分)

荒澤 広光 議員

8ページ

- 1 消防団安全対策について
- 2 増加する鳥獣被害の対策について

石山 和春 議員

11ページ

- 1 持続可能な農業政策を

奥山 謙三 議員

9ページ

- 1 住民主体の地域づくりの進捗状況は
- 2 舟形町におけるSDGsへの取組みは

伊藤 欽一 議員

12ページ

- 1 下校時の交通安全、防犯対策について

斎藤 好彦 議員

10ページ

- 1 感染症対策事業の検証と評価を
- 2 国宝の常設展示館構想の現状は

叶内 昌樹 議員

13ページ

- 1 中学校の現状の課題について

<一般質問 掲載要綱>

- 議会だより一般質問本文への掲載件数は、2件以内で、3件目はタイトルのみ掲載。
- 本文の字数は、質問330字以内、答弁は550字以内のため、内容を要約して掲載。

令和2年 第6回臨時会 議案の採決状況

議案番号	議案名と主な内容	○賛成 ×反対 ⊕欠席 ⊖退席 ⊗除斥										採決結果
		1 叶内昌樹	2 荒澤広光	3 伊藤欽一	4 小国浩文	5 石山和春	6 奥山謙三	7 佐藤広幸	8 叶内富夫	9 斎藤好彦	10 八俣太	
承認10号	令和2年度舟形町一般会計補正予算の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	承認
議案59号	スクールバスの取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案60号	舟形町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案61号	舟形町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決

令和2年 第4回定例会 議案の採決状況

議案62号	令和2年度舟形町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	⊖	○	*	可決
議案63号	令和2年度舟形町国民健康保険特別会計事業勘定補正予算	○	○	○	○	○	○	⊖	○	*	可決
議案64号	令和2年度舟形町後期高齢者医療事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	⊖	○	*	可決
議案65号	令和2年度舟形町介護保険特別会計事業勘定補正予算	○	○	○	○	○	○	⊖	○	*	可決
議案66号	舟形町議会議員及び舟形町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案67号	舟形町税外収入金督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案68号	舟形町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案69号	最上圏域下水道共同管理協議会規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
発委1号	舟形町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
発委2号	舟形町議会会議規則の一部を改正する規則の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
発議9号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決

*議長は採決に加わりません。

◆令和2年 第4回定例会 会期及び審議内容

※本会議前、議会運営委員会及び全員協議会を実施

会期	会議種別	午前(10:00~12:00)	午後(13:00~16:00)	傍聴者数
12月8日(火)	本会議	・陳情付託 ・町長行政報告 ・一般質問2名	・一般質問2名 終了後、各常任委員会	9名
12月9日(水)	本会議	・一般質問2名 ・議案審議(議案62号~)	・議案審議(~議案65号)	3名
12月10日(木)	本会議	各常任委員会 全員協議会	・議案審議(議案66号~69号、発委1号・2号) ・付託審査報告 ・追加議案(発議9号) ・閉会中の所管事務調査報告 終了後、広報常任委員会	1名



奥山 謙三 議員

住民主体の地域づくりの進捗状況は 来年度以降も取り組んでいく



堀内元気ふれあい協議会設立（令和2年8月5日）

質問 コロナ禍の中にあっても、堀内地区をモデル地区として地域運営組織を構築できた事は一歩進んだように思いますが、引き続き地域づくりを進めるには、町による側面からの協力と支援は必要と考えます。質問①今回モデル事業として活動を始めた堀内地区の組織、事業内容等について②未組織の3学区についての

町長 ①のモデル事業として活動を始めた堀内地区の組織、事業内容は、地区連合町内会長会が中心となり今年8月に「堀内元気ふれあい協議会

（通称：はまぐりの貝）として設立しました。その組織は「町内会長班」、「安全・安心班」、「交流・健康班」、「堀内盆踊り・田植え踊り班」の4つの班から構成されています。本年度の事業内容は、「ウォーキング交流会」、「堀内盆踊り花火大会」、「先進地視察」、「除雪有償ボランティア」が計画されています。②の未組織の3学区の進捗状況と今後の進め方ですが、コロナ禍により取組めない状況です。状況を判断しながら、各地区の現状や特性を踏まえながら、来年度以降も引き続き地域運営組織の構築に取り組んでいきたいと考えています。③の指針については、各町内会が地域課題の解決やコミュニティの維持、継続を図っていくものですが、自助、共助の意識を今後も継続していただければ、町内会や地区からのご相談にサポートできるよう対応していきます。

質問 SDGsを活用して地方創生のための方策を考えていくことが大切だと思います。質問①町におけるSDGsを活用しての施策の取組みについて②SDGsの理解の裾野をどのようにして広げていくのか質問します。

町長 町の今後10年の指針である町総合発展計画に掲げる事業の推進がSDGsの目標の達成に貢献していくものと考えています。そのことを広く知っていただくために情報を発信する必要がありますと考えており、町広報誌やSNSを活用し、SDGsの17の目標と町の取組みの関連性を掲載し、あわせてSDGsの情報を発信していきます。



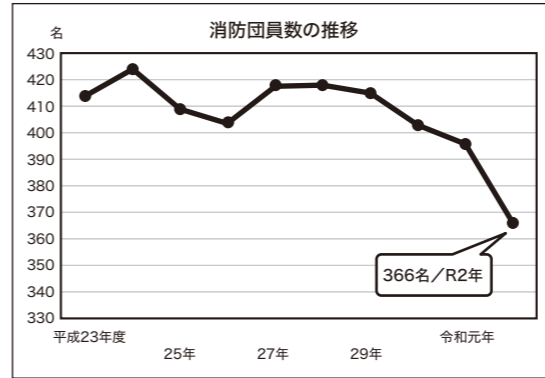
2030年までに達成すべき17の目標



荒澤 広光 議員

消防団安全対策について

来年度、実技教習等を行う



団員数が減少し負担が増加する消防団

町長 町の小型ポンプ積載車は22台配備しており、マニュアル車が

質問 有害鳥獣の増加要因は耕作放棄地の拡大、農作物の残渣処理等の人的要因もあります。イノシシに関しては、農家個人で、光や音の出るもの

町長 本町における有害鳥獣による農作物の被害状況は、クマの被害が昨年は5件程度だったが、本年度は既に11件、イノシシに関しては55件と急増しています。最上管内市町村の中で最も早く、

質問 消防団の安全対策として、①消防団員の運転免許の種類を町として把握する必要があるのでは。②普段消防団員は、自家用車は運転しているが、ポンプ積載車のような重い車に乗り慣れていない団員も多くいると思います。自動車教習所で緊急車両に關した実技教習等の講習会

10台、オートマ車が12台、内1台は準中型免許が必要で、運転免許証については、現在も把握していません。実技教習等については、今年度、自動車教習所との打合わせを終えていますが、新型コロナ感染症の影響で中止しました。来年度は、安全に運転できるように実施していきます。

で威嚇しているが恒久対策になっていません。今後の対策案として①農家地域住民への研修会開催による、意識改革が必要では。②被害、捕獲実績のある自治体の情報を入力し、本町でも実施可能か調査を行う。③クマ、イノシシの目撃情報を基にマップ化し、広報誌等で情報提供を行う事で安全対策に繋がるのでは。町としての対策方向を伺います。



イノシシにより掘り起こされた畦畔被害

国の鳥獣被害防止総合対策交付金事業を活用し、捕獲活動のための農の購入、捕獲及び追い払い技術向上を目的に講習会を開催しています。12月には、他自治体での活動実績のある講師を迎え、住民向けのイノシシ被害防除研修会を開催したところ、多くの参加を頂き、住民の関心の高さが伺えます。

ました。農作物の残りを放置しない生息環境管理や被害防除対策は、地域ぐるみの取り組みが効果的なことから、町民の更なる意識醸成を図りながら、体制づくりを進めていきます。また、目撃情報をマップ化し、広報誌等で広く周知しながら、住民の安全確保に努めてまいります。



石山 和春 議員

持続可能な農業政策を

新たな支援策の創設検討を進める



離農により荒廃する農地

【質問】 現行の「食料・農業・農村」基本計画は、①担い手の明確化と農地集積、②輸出拡大による需要拡大、③6次産業化の推進が大きな柱となっています。2023年まで農地の8割を担い手に集積する目標を掲げていますが、町の農地面積とその集積率を伺います。今年3月提示された計画では、骨格となる基本的な方針として、産業政策と地域政策を推進し、農

業の持続的発展として、中小、家族経営など多様な経営体による地域の支えが強調されています。生産基盤の脆弱化が進行する中、第7次町総合発展計画には、労働力の見通しが示されています。が無理なのか伺います。農地の確保、就業者数の減少をおさえるためには、中小農家へのさらなる支援が農村振興には欠かせないと考えますが町長の考えを伺います。

【町長】 農業は、農地を必要とするため、定住につながる産業と考えております。少子高齢化の進展と人口減少が急速に進んでおり、今後、地域内の共同活動や安全管理活動が成り立たなくなり、集落機能の維持ができなくなるおそれがあります。町としては、中山間地域等直接支払交付金と多面的機能支払交付金を活用し、共同活動や安全管理活動を支援してまいりました。農地面積については、令和2年3月時点で、1530haとなっております。担い手への集積率は63.1%となっております。労働力の見通しについては、個人や法人などの経営形態、水稲や野菜などの作物や規模の大小などにより大きく異なり、計画の目標などに掲げることが困難な事項であります。農家への支援についてはありますが、各種補助事業は、経営規模の拡大や、農業所得の増大などを条件とする傾

舟形町の耕地面積の推移（農業振興課資料より）

	平成29年			平成30年			令和元年度		
	田	畑	計	田	畑	計	田	畑	計
耕地面積	1430ha	121ha	1560ha	1420ha	119ha	1530ha	1410ha	121ha	1530ha
農家台帳面積	1538ha	229ha	1767ha	1537ha	229ha	1766ha	1532ha	229ha	1761ha
遊休農地面積		2ha	2ha	8ha		8ha	21ha	5ha	27ha
農家戸数	603人			599人			600人		
米生産農家数	406人			378人			353人		
JA販売額	1,196,974,000円			1,035,552,221円			1,133,287,757円		

※耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入。この数字が集積率の基となる。（国で算出）
 ※遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入。
 ※農家戸数は、細目書を有している者の総計。土地持ち非農家含む。
 ※JA販売額はもがみ中央農協南部営農センター分となる。

向にあり、認定農業者や法人、任意組合等の団体などでないと補助の対象にならないことが多くなっています。これらの状況を踏まえ本町では、規模の大小に関わらず、町独自の政策を展開してまいります。今後本町

農業の持続的な発展を目指して、新たな支援策の創設を含め検討を進めてまいります。町独自の取り組みと併せ、国、県に対して引き続き要望を行ってまいります。



斎藤 好彦 議員

感染症対策事業の検証と評価を

スピード感をもって難局に臨む



小中学生1人1台のタブレットで授業に活用

【質問】 「コロナ」の言葉を耳にしない日がない毎日を経過し、一年が経過した今なお、収束の兆しが見えない状況にあり、これまでの感染拡大防止策に対する施策の成果を検証し、地域経済再生に向けた支援策の経済効果などの評価を早急に行い、先が見えない難局の次の

対策に備える必要があると考えます。町長の考えを伺います。
【町長】 これまで町では、新型コロナウイルス感染症への対策事業として国の地方創生臨時交付金2億6896万8千円を活用し、34の事業について国から承認を得て順次取り組んでいるところでありますが、事業の検証と評価については、現時点ではすべての事業が完了しておらず、多くの事業については事業の着手に向け準備を進めている段階です。新型コロナウイルス感染症による影響は先が見えない難局であり、これまで誰も経験したことがないものです。今後の対応につきましては、これま

で同様、国、県との連携を図りつつスピード感をもって臨みたいと考えております。
【質問】 本町には「国宝の出土」という宝が存在しますが、国宝の展示館もなく出土地としては非常に寂しい感があります。全国的にも国宝の出土地に常設の展示館がないのは本町だけであり、以前から提案してきた常設展示館構想について推進を進めるべきと考えます。県立博物館の移転先などの現状について、町長の考えを伺います。

同様に備える必要があると考えます。町長の考えを伺います。
【町長】 これまで町では、新型コロナウイルス感染症への対策事業として国の地方創生臨時交付金2億6896万8千円を活用し、34の事業について国から承認を得て順次取り組んでいるところでありますが、事業の検証と評価については、現時点ではすべての事業が完了しておらず、多くの事業については事業の着手に向け準備を進めている段階です。新型コロナウイルス感染症による影響は先が見えない難局であり、これまで誰も経験したことがないものです。今後の対応につきましては、これま

同様に備える必要があると考えます。町長の考えを伺います。
【町長】 これまで町では、新型コロナウイルス感染症への対策事業として国の地方創生臨時交付金2億6896万8千円を活用し、34の事業について国から承認を得て順次取り組んでいるところでありますが、事業の検証と評価については、現時点ではすべての事業が完了しておらず、多くの事業については事業の着手に向け準備を進めている段階です。新型コロナウイルス感染症による影響は先が見えない難局であり、これまで誰も経験したことがないものです。今後の対応につきましては、これま



舟形へ早く帰りたいよー!!

【町長】 現在、国宝「縄文の女神」は山形県が所有し、県立博物館に展示されていますが、本来文化財は出土地に存在してこそ文化的価値があり、大きな意義があるものと思えます。縄文の女神が里帰りするためには、山形県に、縄文の女神は出土地の舟形町にあるべきだと思っております。今後とも調査研究していきたく、「縄文の女神」が、生まれ故郷の舟形町に里帰り出来るよう努力してまいります。



叶内 昌樹 議員

中学校の現状の課題について

具体的な対応を検討



換気の基準を決める二酸化炭素 (CO2)測定器

質問 コロナ禍において学校生活が一変し教職員や生徒は新しい学校生活を余儀なくされていますが、近年では生徒数の減少により1学年1クラスで大変な密になっているものと感じられる中、学校側から「コロナ禍」対応策の必要事項をどのように対応しているのか伺います。さらに、中学校のグラウンドに関しては外部道路側の簡易フェンスが低く影響があると共に夜間照明は全体

町長 今年度の中学校の普通学級では1年生と2年生が40人1学級で、国が定める学級編成の基準における最大人数であり、3密を避けることは難し

的にグラウンドを照らすように思えないのだが、照明の位置等も含めて、中学校の移転や改修には相当な時間がかかるのであれば、若あゆ温泉多目的グラウンド照明の活用も考えて早急な対応が必要ではないのか。

く、課題と考えています。コロナ禍において、使用した教室を毎日教職員が手分けして消毒作業を行い感染防止に努めてきましたが、学校の負担とのことで、9月からその作業を担うスクールサポートスタッフが小中学校にそれぞれ1名県費で配置して頂いています。

教育長 冬場の換気についても教室の中の空気の流れを数値的に判断出来るようにCO2測定器を購入し基準のデータに基づいた換気環境を考慮した授業を行いたいと計画しております。

町長 中学校のグラウンドの設備については東側の簡易ネットが低く授業・部活動・クラブ活動中にボールがネットを越えてしまう場面が度々あるため、次年度に向けた具体的な対応を検討いたします。夜間照明については、正規の設置基準を満

たず照明設備の整備が困難な中、猿羽根山スキー場の照明の再活用により、保護者の要望に応えたものであり、照明器具については角度調整による対応が可能ですのでご相談ください。なお、今後の部活動は地域スポーツクラブが主になる事になれ

ば、国の補助制度で学校の施設関係も照明灯を設置しながら運営していく事も考えられます。若あゆ温泉多目的グラウンドの照明については、グラウンド自体の活用方法と合わせて検討を進めてまいります。



活動範囲が制限される照明状況（平成19年に移設された照明）



見守り隊の交通指導で安全に登校

町長 通学時の安全対策を推進していくことは大変重要なことであると認識しており、小中学校においては、登下校時の交通安全指導を毎年計画的に行っています。下校指導は、小学校では新入生に対して4月に教職員と一緒に下校する指導を実施しているほか、時期に応じて年3回の指導を行っています。徒歩通学の児童生徒は約3割程度で、

小学校では、バスの乗降車場所までの通学路について、校外生活委員の協力を得ながら安全確認をしています。中学校では、毎日通る道を担任が確認した上で、通学路として認めることとしています。反射材については、中学校の通学カバンには標準装着されていますが、小学校のランドセルには装備されていない場合が多いため、今回児童生徒全員にシール式の反射材を配布し小中学校で装着の指導をしました。不審者対策の指導では特に小学校低学年に対して、最上教育事務所の青少年安全指導担当者から回避方法について重点的に指導をいただいています。小中学生以外の町民、

質問 夜光反射材の形状に制約がなければ縄文の女神をモチーフにした反射材を作成し、多くの町民に着用していただき、特に高齢歩行者に対して夜光反射材等の活用啓発を含め、町全体として交通事故防止対策を推進していきま

教育長 縄文の女神のPRについては大変有効と考えるが、関係機関の許可等や、予算的なことも考慮した上で、検討させていただきます。

質問 11月初旬の夕方、傘を差して下校する一人の生徒を見かけました。服装も黒っぽく、防犯灯もなく暗く、対向車のライトで見落とす可能性もあり大変危険だと感じました。徒歩で下校する児童生徒への声かけや指導はされているのか。スク

ールバスから下車し徒歩で帰宅するまでの危険箇所等の調査及び把握はされているのか。夜光反射材的なものは着用しているのか。不審者等からの回避方法の指導、訓練はしているのか。町長に伺います。

小学校では、バスの乗降車場所までの通学路について、校外生活委員の協力を得ながら安全確認をしています。中学校では、毎日通る道を担任が確認した上で、通学路として認めることとしています。反射材については、中学校の通学カバンには標準装着されていますが、小学校のランドセルには装備されていない場合が多いため、今回児童生徒全員にシール式の反射材を配布し小中学校で装着の指導をしました。不審者対策の指導では特に小学校低学年に対して、最上教育事務所の青少年安全指導担当者から回避方法について重点的に指導をいただいています。小中学生以外の町民、



カバンに装備されている夜光反射材シール



伊藤 欽一 議員

下校時の交通安全、防犯対策について

夜光反射材等の活用推進

質問 インフルエンザ補助が他市町村との違いがあるのはなぜか。

回答 新型コロナウイルス関係の地方創生臨時交付金の使い道は、市町村毎の計画に基づき国・県より交付決定がなされるため、そのために補助費用については市町村によっての違いがあります。(議会)

質問 防災無線の個別受信機が聞こえない時がある。

回答 個別受信機が聞こえない場合は、連絡いただければ、業者が確認のうえ、外部アンテナを設置いたします。(外壁にアンテナを通す穴を開けることとなりますので、ご了承ください。)(住民税務課)

質問 空き家対策事業をもっと進めてほしい。空き家を利活用して移住者が来るような事業をもっと進めてほしい。

回答 舟形は住みやすい街だと思っています。現在、町では子育て支援の事業に重点を置き人口の定着、移住・定住出来るまちを目指しています。(議会)

質問 防災無線で、ぬか焼きの届出を行政に申告すると焼いて良いと放送されたが、どうなのか。

回答 くん炭づくりの場合、農業振興課に火入れを申請し許可が必要です。最上広域消防南支署には農業振興課より連絡をします。(議会)



洲崎公民館



福寿野公民館

質問 スクールバスの乗り場に屋根付きの待合所がほしい。

回答 スクールバスの乗り場は、地域からの要望(子どもの数や乗り場までの距離)により変更されることがありますので、固定物を設置してしまうと要望に柔軟に対応できなくなる可能性があり、難しいと考えます。(教育課)

質問 令和2年度の歳入予算で、町債の金額が多くなっているが、町の財政は大丈夫なのか。

回答 令和2年度の町債については10億1530万円の予算となっていますが、交付税算入割合の多い地方債を選択したり、国・県の有利な補助制度を活用したり職員は努力している。財政健全化法に基づく各財政指標は、国の基準内にあり当町の財政は健全であると判断しています。(議会)

質問 子育て住宅の年齢制限を廃止し、ずっと入居可能なように出来ないか。

回答 間取りや家賃等、子育て支援を目的に設定しております。ずっと入居できる一般住宅とは異なるものをご理解下さい。(地域整備課)

退去後は定住型住宅建設用の宅地整備をほほえみ保育園向かいに整備をしています。一般販売用の土地は既に完売していますが、ハイムひだまり入居者用の土地は数区画販売中です。(議会)

第13回議会報告会

10月22~23日に議会報告会を開催し、各会場でいただいた質問や意見、要望事項を検討し、回答書を作成しました。主な質問と回答は次のとおりです。(回答書より抜粋)

議会に対する意見

質問 町内会ごとの陳情請願の項目が増えていく一方だが、議員との共有は、図られているのか。

回答 町に提出された陳情等は、その内容を町から情報提供していただき、町と議会との共有を図っていききたい。(議会)

質問 議会の新型コロナウイルス感染対策特別委員会の設置が6月になった訳は。

回答 特別委員会設置前は、町の感染症対策についての説明を受け、それに同意し議決を行ってきました。議会として、もっと感染症対策について積極的に関わっていく必要があるという意見が議員各位からあり、感染症についての情報収集や国・県・町の施策に対して提案・要望等を行ってため特別委員会を設置しております。特別委員会設置後は、議員それぞれの意見を出し合い、議会内で協議し国に意見書を提出したり、町に事業の提案をしたりするなどの活動をしております。(議会)



内山公民館



沖の原公民館

町に対する要望・意見

質問 新型コロナウイルス感染症対策、地方創生臨時交付金対象事業は町独自で決められる事業内容なのか。

回答 国(内閣府)から発行された、活用事例集を参考にして舟形町に必要と思われる感染症予防対策を国に申請し予算化しています。第2次補正では、議会として各議員の意見を出し合って取りまとめ町に要望しています。元気にくらしましょう品券事業、地区公民館感染症対策支援事業、公共施設Wi-Fi環境整備事業などは、議会から特に要望した事業です。(議会)

質問 地区公民館感染症対策支援事業の上限30万円は、予算額600万円以内であれば上限を増額することは出来ないのか。また、実施期間が令和3年3月までとあるが要望している設備の設置は終了するのか。

回答 現在、担当課では各地区公民館長と連絡をとり、事業利用の有無を確認しているところです。現段階では上限30万円で進めています。(議会)
実施期間については、今年度の国交付金を財源としており、令和2年度限りの事業ですので、令和3年3月末までに設置を終了(事業完了)して頂くよう、お願いします。(教育課)

◆議会活動について (18~19ページ)

- ・日々、舟形町の住民のために尽力していただいていることに感謝している。これからも住民目線の活動を期待している。
- ・暑い中、議員さんも現地調査ご苦労様です。いつでも問題解決できるよう願います。
- ・年配の方が多い舟形町。新しい時代についていくのは、私も大変である。町民に優しいデジタル化を願います。

◆えがったなあ、町民の声、編集後記について (20ページ)

- ・若い世代の声を反映させてもらえるような町づくりを願う。
- ・いつも若夫婦の仲睦まじい写真に癒される。でも、舟形町の悪いところとして、必ずスーパーなどすぐに買いものにいけないところがないという意見は、いつでも出てくるので、いつかそういう意見がなくなれば良いと思う。
- ・いつも町について、地域について、きちんと考えている人がいるなど感心している。考えている人がいる、ということが大事なのだと思う。
- ・若い世代の転入が増え、嬉しく思う。
- ・えがったなあのお嫁さんの声は、舟形町にとっては大切な声。舟形町をずっと好きでいて欲しい。

◆議会・町に対する意見等、その他

- ・堀内の橋工事が予定期日より早く完成したことは、よかったと思う。工事に携わった関係者の方々に感謝したい。ご苦労様でした。
- ・除雪機にGPS機能を付けて欲しい。
- ・第3地区の夫婦川付近が危なく感じる。川と家の境もチェーンのみ、川を渡る橋も落ちないような柵もない。子どもや高齢者が多い地域なので気になる。冬の時期も危険だし、子どもが川をのぞいて落ちたら大変。
- ・コロナ禍でこれからインフルエンザの流行も心配しながら、冬を迎える。健康に気をつけて頑張ってもらいたい。

モニターさんのご意見にお答えします

- Q. 初の民間賃貸共同住宅。
今後も建設を希望する業者が増えることを願う。
- A. 2棟目の民間賃貸共同住宅は、車庫つき1LDK。
場所は、舟形第二町内の郵便局通りです。

議会だよりモニターを募集

- 活動内容 ①発行された議会だよりについて意見を述べる。
②議会だよりに関するアンケートに回答する。
- 任期 委嘱状を交付された日から1年間(4月号発行~1月号発行まで)
舟形町在住の18歳以上の方
- 定員 5人以内
- 申込方法 令和3年3月末日までに議会事務局へ来庁または電話かメールでお申し込みください。
電話：32-0030(直通)
メール：gikai@town.funagata.yamagata.jp



現在建設中の2棟目の民間賃貸共同住宅

貴重な意見ありがとうございます。

議会報モニターより



舟形町議会では、議会だよりが町民の皆様との結びつきを強めることができるよう、町内在住の5名の方に議会報モニターを委嘱しています。今回は議会だより184号(10月23日発行)に寄せられた意見や感想を掲載しています。いただいたご意見は十分参考にし、今後の編集に役立てていきます。

◆表紙について

- ・新型コロナの収束がいつになるかわからない中での運動会開催は、特別な思いがあり、やれてよかったと思う。親子のかけあいが聞こえてきそうでとても良い。
- ・子どもたちの楽しそうな表情がよい写真だ。
- ・表紙に知り合いの子どもなどを見つけると嬉しいもの。コロナだから出来ないではなく、対策をとり、工夫して、元気にGO! 歓声が聞こえてきそう。
- ・コロナ禍の中でも対策し、運動会ができた喜びが感じられる。皆マスクをして大変だが、子どもたちの笑顔が素敵。
- ・親子での競技は、とてもほほえましい。口元に見える笑顔に早く戻ってほしい。

◆定例会等概要、質疑応答、決算審査概要、質疑応答、採決状況表について (2~8ページ)

- インフルエンザの予防接種に補助があるのは、大変ありがたい。流行を防ぐためにとても良い事業である。初の民間賃貸共同住宅が、満室になっていることは若い世代に希望が持て、うれしい。今後も建設を希望する業者が増えることを願う。
- ・元気にくらしましょう品券の交付は、町民にとって役立つものだと思います、感謝する。
- ・防犯カメラの設置は今後も増やしてほしい。
- ・監査意見書の中の「当町の財政は健全である」との一文で何となくホッとしたりする。ますます慎重審議をお願いする。
- ・コロナの影響で生活様式が変わったため、必要となったIT関連、医療体制、災害対策等のお金の動きが見えた。
- ・今年も水害の被害があったが、復旧場所・改良場所はまだまだたくさん。防止対策も含め、自然の中で生かされているのだと改めて感じた。この時期、インフルエンザの助成は、予防接種の人が増えると思うので、ありがたい。

◆一般質問について (9~15ページ)

- ・新しくできたふるさと納税サポートセンターの今後に期待する。新商品にばかりとられず、今まである商品をもっとよりよい商品へと開発していく取り組みを進めてもよいのではないだろうか。
- ・近年、自然災害が多くあり、その対策などに予算が多く使われているところに、コロナ禍の対策もあり、町の財政はなかなか大変だと思うが、ふるさと納税の寄附金が役にたっているのであればいいが、もう少しわしくふるさと納税の使い道を知りたい。
- ・今後災害が想定される区域や、災害防止のために対策が必要な場所が、町内のあちこちにあり、不安になる。少しずつでも対策が進むように頑張りたいと思う。
- ・<特定非常災害特別措置法の概要>は残念ながら文字が小さすぎて読めなかった。
- ・空き家の数の多さにも驚いた。倒壊しそうな家が近くにもある。公費で行っていくには、色々な手続きがあるかと思うが、防犯等の観点からも整備されていけば良いと思う。

災害発生時、議員の役割を再認識

県町村議会議員研修会

(令和2年10月20日)

高島町文化ホールまほらで、山形県町村議会議員会主催の研修会が開催され、跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部教授の鍵屋一氏から「災害対策における地方議会・議員の役割」政治評論家の加藤清隆氏から「今後の政局の行方」と題した講演をいただきました。

鍵屋氏からは、災害時、議会議員は、情報の収集や提供、地域の支援活動等を行い、災害後は視察の受け入れや要望活動に努めるというお話をいただき、災害時の議会議員としての役割や行動について再認識することができました。

また、加藤氏からは日本の政治やアメリカの大統領選についてのお話を聞くことができ、どちらも印象に残る研修でした。



コロナ感染症対策のための議員研修会を実施



議会だよりふながたの講評をいただいた広報研修会(令和2年4月号)

議会だよりふながたを講評

町村議会広報研修会(令和2年11月5日)

山形国際交流プラザで開催された第37回町村議会報研修会に参加し、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏による「議会広報紙の制作に求められる事」について講義を受けた後、「議会だよりふながた」についての講評をいただきました。今回の研修を通して、「議会だよりふながた」の良い点や改善点を確認することができ、今後ますます町民にとって読みやすい議会だよりづくりを努めていきたいと思います。

新型コロナウイルスが及ぼした事業の検証

総務文教常任委員会所管事務調査

1. 期 日 令和2年11月17日(火)
2. 新型コロナウイルス感染症により影響のあった事業及び中止した事業の調査

- (1) 事業計画
- ・ 総務課 職員研修事業は研修会の延期や中止
 - ・ 健康福祉課 母子検診、各種検診等延期・自粛
 - ・ 住民税務課 町総合防災訓練は規模縮小で実施
 - ・ 教育課 成人式を延期
- (2) 中止した事業
- ・ 健康福祉課 高齢者祝賀事業等
 - ・ 住民税務課 春季消防演習事業、町操法大会等
 - ・ 教育課 児童交流学習事業等
- (3) 所感
- 新型コロナウイルス感染症防止対策のため事業実施について国・県の指導及び町におけるコロナ感染防止対策を見据えるなど、担当課職員の苦慮が窺われた。今後の対策が必要とされる案件として、影響があるものあまり影響がないものとの事業区別を見極めた形での事業実施を望む。



説明を受け現地の確認

撤去工事までの安全対策を

産業振興常任委員会所管事務調査

1. 期 日 令和2年11月12日(木)
2. 調査内容 危険ブロック塀の現地調査

- (1) 調査場所
- ① 危険度が高い6件のうち2件は令和元年、令和2年にそれぞれ撤去済み
 - ② 残り4件の現地調査を実施(富田二一件、福寿野2件、長沢二一件)
- (2) 地域整備課より説明
- ① ブロック塀に関する建築基準法関係
 - ② ブロック塀の危険性や倒壊した場合の責任
 - ③ 基準外のブロック塀(規制と現状)
 - ④ 注意喚起の方法と所有者の法的責任
- (3) 今後の課題
- ① 危険ブロック塀の撤去工事は高額な費用が発生する場合が多いことから、その促進を図るため、補助率のアップ等を検討すべきである
 - ② 危険ブロック塀を放置し、実際に倒壊事故が起きた場合、民事上の賠償責任のみならず、刑事上の法的責任が生じることもある旨を所有者に説明し、自己責任についての周知が重要である。

陳情

12月定例会で審査した陳情は次のとおりです。

●長尾地区道路についての陳情

陳情者 持分27分の1 八鍬惣吉相続人
採 択 八鍬 勝昭

●共生の実現に向けた障がい者差別解消条例の制定についての陳情

採 択

陳情者

新庄・最上広域身体障害者福祉協会連合会
会長 松田 英雄
舟形町身体障害者福祉協会 会長 沼澤 一義

●安全・安心の医療・介護の実現と

国民のいのちと健康を守るための意見書の提出についての陳情
採 択

陳情者 山形県医療労働組合連合会
執行委員長 渡辺 勇仁

意見書

●安全・安心の医療・介護の実現と

国民のいのちと健康を守るための意見書(右記の意見書を政府関係機関に提出しました)

議会のひびき

日	内容
10月5日	自治功労表彰審査会 議会運営委員会
9日	議会広報常任委員会 最上県勢懇話会
12日	議会広報常任委員会 庄内町議会運営委員会視察研修来町
16日	町村議会議員研修会 第13回議会報告会(22日・23日)
19日	舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟会
20日	舟形町自治功労表彰式
22日	町村議会広報研修会
29日	産業振興常任委員会所管事務調査 最上を拓く高規格道路建設促進合同大会 議会活性化特別委員会 議会運営委員会 PTA連絡協議会教育懇談会 第6回臨時会 全員協議会
11月2日	議会運営委員会
5日	町村議会広報研修会
12日	産業振興常任委員会所管事務調査
17日	最上を拓く高規格道路建設促進合同大会
24日	議会活性化特別委員会 議会運営委員会
30日	PTA連絡協議会教育懇談会 第6回臨時会 全員協議会
12月1日	議会運営委員会
4日	全員協議会
8日	12月定例会(～10日)
22日	議会活性化特別委員会 議会広報常任委員会 最上県勢懇話会 最上市町村議会議長会

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各議員が各地区行事等に参加しています。

表紙のことば

12月30日、舟形若あゆ温泉で、恒例の「みずぎ団子飾り」が行われました。

新型コロナウイルスが確認されてから間もなく一年、感染が拡大する中一刻も早い収束を願い、餅を小さく丸めて作った団子、大判やタイ、サイコロなどを飾り付けました。飾り付けた団子木は、1月17日まで館内に設置されていました。

議会だよりふながたの表紙写真を募集します。

「議会だよりふながた」を、住民参加型のより身近な広報誌とするため、表紙の写真を募集します。

■応募方法：写真データを議会事務局へ持参するか電子メールで送付してください。

■問合せ：舟形町議会事務局 32-0030 (直通) gikai@town.funagata.yamagata.jp

次回の定例会は 3月3日(水)～11日(木) までの予定です。

元がったなみのその後

追跡… シリーズ



今回は、平成26年1月(No.157)号に掲載された「舟形の花嫁・お見合い大戦」で結婚した、内山の伊藤浩・恵美さんご夫婦と駿杜くん6歳です。

♥舟形町での生活や子育てはどうですか？

縁があって嫁いできてから7年の間、内山の皆様をはじめ多くの方々の温かなご協力と見守りで子育てできていくことが幸せだなくと感謝しています。

♥舟形町の良いところ・足りないと思うところは？

良いところはズバリ！町内会ごと地域伝統行事が残っているところ、スキートの授業があるところ。

足りないと思うところは、家族以外で子供たちとお年寄りの交流があまりないところや、子育てに対して世代間ギャップがあるところ。

♥舟形町に望むことはありますか？

今年からタブレットを使用しての授業が始まるのですが、家庭でのタブレット授業が出来るように環境整備のサポートを望みます。

冬でも室内運動場や交流の場が近くにあればいい。特に、冬場は運動不足になりがちなので。

♥子どもへの一言

春には小学1年生となる駿杜、これからもたくさんの人達との関わりで多くのことを吸収し、たくましく成長してください。父も母も全力で応援しています。



皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いしています。

私の住む堀内地区は、人口減少や少子高齢化が進行しています。それに加え空き家も増えているのも心配しています。一人でも多くの人が舟形町に定住や移住していただくように町にも政策を考えていただきたいです。堀内は、子どもが少ないと思いますが、子どもたちが遊べる場所がありません。堀内小学校跡地に遊具のある公園などを整備していただければ、親同士の交流の場も出来、より明るい堀内地区になると思っています。さらに堀内地区に定住してくれる子どもたちが増えてくれることに期待します。今年新型コロナウイルスの影響で色々なイベントが延期や中止となりました。幸いにも舟形町からは、感染者は出ていませんが、とても不安な毎日を送っています。ワクチンのこともそうですが、子どもたちが益々希望を持てる舟形町になるように期待しています。



阿部 清美さん (洲崎)

(議会より) 未来を見据え、生涯住み続けられる町になるように議会としても努力してまいります。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

今年はず年の暖冬がうそのような大雪となりました。毎日の除雪や屋根の雪下ろしには、十分な安全対策をし、注意して作業を行ってください。冬の訪れとともに、近隣の市町村でも感染者が増加傾向にあり、新型コロナの第3波の影が、舟形町にも押し寄せてきているように感じられます。そのような中、12月22日に県において医療緊急事態を宣言し、県医師会などが年末の帰省自粛を訴えていました。町民の皆さまも3密に注意し、新型コロナに感染しないように心がけ、令和3年は、新型コロナを克服し、より良い年になるようご祈念申し上げます。(小国 浩文 記)

発行責任者

- 議長 八 欽 太
- 議会広報常任委員会
- 委員長 伊藤 欽 一
- 副委員長 小国 浩 文
- 委員 石山 和 春
- 委員 荒澤 和 光
- 委員 叶 内 昌 樹

